

Micro Focus® Server for Windows

実行ライセンス管理ガイド

第 4 版

2006 年 1 月

このガイドでは、Net Express で作成され Micro Focus Server 上で実行される COBOL アプリケーションに必要なライセンスの設定と適切な管理方法について説明します。このガイドは、ビジネスコンピューティング、および Windows システムの使用と管理に関する知識があることを前提としています。

Introduction



第 1 章: はじめに

ここでは、Micro Focus Net Express を使用して開発したアプリケーションを実行するために必要なライセンスについて説明し、開発したアプリケーションをデプロイするマシンにこれらのライセンスをインストールする方法について概要を説明します。

ここでは、Enterprise Server を含まない Micro Focus Server を、基本 Micro Focus Server と呼びます。旧製品では、これを Application Server と呼んでいたため、参照先で Application Server という記述が残っていることがあります。

このマニュアルは Windows 版と UNIX 版があります。

概要

注: ここでは、Micro Focus Server ライセンスの条件についても説明します。ここではこれらの条件を簡単に分かりやすく記述します。これらの条件の、正式な法的拘束力のある記述については、『[MICRO FOCUS エンドユーザソフトウェア使用許諾契約書](#)』を参照してください。

Windows 版のこのマニュアルには 2 つのバージョンがあります。Micro Focus Net Express と共に提供されるバージョンには、アプリケーションを作成して出荷する、ライセンスを持った開発者向けの章と、これらのアプリケーションをインストールして実行するエンドユーザ向けの章が含まれています。Micro Focus Server と共に提供されるバージョンには、エンドユーザ向けの章のみが含まれています。この「はじめに」は、どちらのバージョンにも共通の内容です。

Net Express を使用して開発されたアプリケーションを、Net Express 外で実行するには、Micro Focus Server 上で実行する必要があります。つまり、Micro Focus Server を実行するライセンスが必要になります。ここでは、このような Micro Focus Server ライセンスについて説明します。

アプリケーションが内部使用目的であっても、再販目的であっても、実稼動環境でアプリケーションを実行するには、Micro Focus Server ライセンスが必要です。

Micro Focus Server ライセンスは実行ライセンスと呼ばれることがあります。

ここでは Micro Focus Server ライセンスについてのみ説明します。Net Express を実行するために必要なライセンスの詳細については、Net Express と共に提供される『[プロテクションシステムユーザガイド](#)』を参照してください。

ライセンスのインストール

Micro Focus Server のライセンスを購入すると、ライセンスキーカードが提供されます。このカードには、Micro Focus Server ライセンスが印刷されており、製品名とライセンスユーザ数が記載されています。ライセンスキーも印刷されているので、これを使用してラ

イセンスをシステムにインストールします。

Micro Focus Server ライセンスのインストールと管理には、AppTrack License Administration ユーティリティを使用できます。または、アプリケーションのセットアッププログラムの一部としてライセンスをインストールすることができます。その場合は、セットアップ中にライセンスの入力を求められるか、またはライセンスを定義したファイルから自動的に抽出されます。『[Micro Focus Server ライセンスのインストールと管理](#)』の章を参照してください。

Micro Focus Server ライセンスの要件

ここでは、必要な Micro Focus Server ライセンスについて説明します。詳細は、『[MICRO FOCUS エンドユーザソフトウェア使用許諾契約書](#)』を参照してください。

あるマシン上で実行されている1つのアプリケーションに対し、Micro Focus Server の使用ライセンスをすでに取得している場合は、同一マシン上の別のアプリケーションに対して新たに Micro Focus Server ライセンスを取得しなくてもよい場合があります。これは、購入したライセンスによって異なります。

エンドユーザと開発者

Micro Focus Server ライセンスは、次の 2 種類のユーザを対象とします。

エンドユーザ

エンドユーザが、実稼働環境でアプリケーションを実行することができます。

開発者

Net Express を使用してアプリケーションを開発している開発者が、テスト目的に限り、開発システムを含むマシンとは別のマシン上で、開発中のアプリケーションを実行することができます。これらの Micro Focus Server ライセンスは、『[MICRO FOCUS エンドユーザソフトウェア使用許諾契約書](#)』の使用条件に従って使用してください。詳細については、『[開発者テスト用ライセンス](#)』の章がある場合は、そちらを参照してください。

ライセンスのレベル

Micro Focus Server ライセンスには、Micro Focus Server Premier Edition ライセンスと、Micro Focus Server Enterprise Edition ライセンスの 2 つのレベルがあります。適切なライセンスを取得してください。

CICS または JCL アプリケーションを実行する場合は、Micro Focus Server Enterprise Edition ライセンスが必要です。

それ以外の場合は、Micro Focus Server Premier Edition ライセンスが必要です。

Studio 5.0 以降は、Enterprise Server を使用するアプリケーションと、基本 Micro Focus Server のみを使用するアプリケーションに区別はありません。

ライセンスデータベース

インストールする Micro Focus Server ライセンスは、すべてライセンスデータベースに格納されます。このデータベースは、Micro Focus Server ライセンスが初めてインストールされたときに作成されます。データベースは mfasdb ファイルに保持され、このファイルはデフォルトでディレクトリ c:\mfasmf に置かれます。

ライセンスデータベースがマシン上で 1 つ設定されているか、またはネットワークサーバ上で 1 つを使用するか以外、データベースの詳細を知る必要はありません。組織は、これに関する方針が必要です。ネットワークライセンスデータベースでは、ライセンスの維持が容易になりますが、ネットワークサーバが常時稼働し、アプリケーションを実行するとき稼働している必要があります。また、Enterprise Server は、ネットワークを超えるデータベースにアクセスできないため、そのようなデータベースの場合は、基本 Micro Focus Server のみが使用可能です。

データベースの内容は、AppTrack でライセンスをインストールしたり削除したりする場合を除き、変更できません。データベースのキーは暗号化されており、ユーザは AppTrack を介してのみ見ることができます。AppTrack へのアクセスは、オプションのパスワードシステムで制限できます。

1 台のマシンに保有できるアクティブなライセンスデータベースは 1 つのみです。データベースは、いったん生成されると、移動できません。ただし、別のデータベースを生成して、元のデータベースの代わりに使用することはできます。このとき、元のデータベースにライセンスをインストールしている場合は、新しいデータベースに再インストールする必要があります。

既存のライセンスデータベースの場所を見つけたり、新しいライセンスデータベースを設定したりする場合は、aslmlocate ユーティリティを使用します。

方法

環境設定

AppTrack の実行環境や、Micro Focus Server を使用するアプリケーションの実行環境は、通常の場合、アプリケーションまたは Micro Focus Server のインストールの過程で設定されます。設定されない場合は、次のように設定する必要があります。

1. アプリケーションが、基本 Micro Focus Server を使用する場合は、環境変数が Micro Focus Server を示すように設定します。

方法

2. Micro Focus Server が、ネットワークライセンスデータベースを使用する場合は、ローカルマシンの ASLMFNET 環境変数を設定して、データベースへのパスを設定します。これにより、ローカルデータベースがインストールされていても、ネットワークライセンスデータベースが使用されます。

方法

3. Micro Focus Server ライセンスがインストールされていない場合は、インストール
します。

方法

Copyright © 2006 Micro Focus (IP) Ltd. All rights reserved.

Installing and Administering Micro Focus Server Licenses



第 2 章: Micro Focus Server ライセンスのインストールと管理

ここでは、AppTrack の実行方法および、AppTrack による Micro Focus Server ライセンスのインストールと管理方法について説明します。

ここで言う「ライセンス単位」とは、ライセンスデータベース内の、アプリケーションで使用できる Micro Focus Server ライセンスを意味します。

はじめに

Micro Focus Server を使用するアプリケーションを実行するには、まずご利用のシステムに Micro Focus Server ライセンスをインストールする必要があります。ライセンスは、いくつかの方法でインストールできます。

Micro Focus Server のインストール中に要求された時に、ライセンスキーを入力する方法。この方法は、Micro Focus 社から提供されたセットアッププログラムを使用している場合に使用できます。

方法

Micro Focus Server のインストール中、またはアプリケーションの提供者がセットアッププログラムを準備している場合はアプリケーションのインストール中に、自動的にインストールされる場合。このセットアッププログラムは、Micro Focus 社から提供されたものか、またはアプリケーション提供者から提供されたものです。

方法

インストール後に AppTrack License Administration ユーティリティを使用してライセンスキーを入力する方法。この方法については、この章の『ライセンスのインストールとアンインストール』で説明しています。

インストールするライセンスは、すべてライセンスデータベースに格納されます。誤用を防止するために、データベースにはパスワードを設定することをお奨めします。

AppTrack の実行

Micro Focus Server ライセンスのインストールと管理には、AppTrack License Administration ユーティリティを使用できます。

ライセンスの詳細を正しく表示するために、最新バージョンの Micro Focus Server に付属する AppTrack を使用してください。

方法

AppTrack パスワードの設定

不正にライセンスシステムが改ざんされることを防止するために、AppTrack にパスワードを設定することをお奨めします。

インストールするすべての Micro Focus Server ライセンスは、初めて Micro Focus Server ライセンスをインストールしたときに生成されるライセンスデータベースに格納されます。設定したパスワードは、ライセンスデータベースに格納されるので、データベースが生成されるまではパスワードを保存する場所がありません。Micro Focus Server ライセンスをインストールし、データベースが生成されると、パスワードが保存されます。ライセンスデータベースからすべてのライセンスを削除しても、パスワードは保存されます。

方法

AppTrack によるライセンスのインストールとアンインストール

Micro Focus Server ライセンスは、AppTrack を使用して手動でインストールしたり、アプリケーションのインストール時に自動的にインストールしたりできます。

同一の Micro Focus Server ライセンスを複数のマシンに同時にインストールすることはできません。これを行った場合、『MICRO FOCUS エンドユーザソフトウェア使用許諾契約書』に違反することになります。Micro Focus Server ライセンスを現在のシステムから他のシステムに移すには、まず現在のシステムからライセンスをアンインストールし、その後で新しいシステムにライセンスをインストールする必要があります。Micro Focus Server ライセンスを追加が必要な場合は、サポート窓口、または Micro Focus 社が許諾した提供者に購入の詳細をご連絡ください。

使用していない古い Micro Focus Server ライセンスは、アンインストールすることをお奨めします。ライセンスは起動時にロードされるため、システムの共有メモリ不足の原因になることがあります。

方法

エラーメッセージ

アプリケーションの実行中に、ライセンスの問題を示す様々なエラーメッセージが表示されることがあります。基本 Micro Focus Server の使用時に表示されるメッセージの詳細については、『[Micro Focus Server ライセンシングメッセージ](#)』を参照してください。

Enterprise Server の使用時に表示されるメッセージの詳細については、『[Enterprise Server ライセンシングメッセージ](#)』を参照してください。

第 3 章: 開発者テスト用ライセンス

ここでは、アプリケーションのテスト用に提供される、無料の Micro Focus Server ライセンスについて説明します。

はじめに

Net Express を使用して開発したアプリケーションをテストするには、Micro Focus Server 上でそれらのアプリケーションを実行する必要があります。

Net Express には、無料の Micro Focus Server ライセンスが付属しています。このライセンスを開発者テスト用ライセンスと呼びます。開発者テスト用ライセンスは、Net Express を使用して開発したアプリケーションのテスト目的だけに使用できます。Net Express のライセンスを保有する登録ユーザだけが、その Net Express に付属するライセンスを使用できます。登録ユーザは、どのマシンでもこれらのライセンスを使用できます。開発者テスト用ライセンスは、システムのテスト、実稼動、およびディプロイなど、アプリケーションのテスト以外の目的で使用できません。このライセンスでは、アニメータからでもコマンド行からでもアプリケーションを実行できます。

開発者テスト用ライセンスの使用期限は30日です。ただし、再インストールすると、さらに 30 日の使用期限が得られます。また、必要に応じて何度も再インストールができます。エンドユーザと同じように AppTrack を実行し、提供されている機能をすべて使用することができます。

登録ユーザの使用している Net Express が Micro Focus Studio Enterprise Edition の場合でも、開発者テスト用ライセンスは、Micro Focus Server Premier Edition のライセンスになります。つまり、CICS または JCL を使用したアプリケーションは実行できません。ご利用の Net Express が Micro Focus Studio Enterprise Edition の場合は、Net Express の Enterprise Server を使用してこれらのアプリケーションをテストすることができます。

アプリケーションを Micro Focus Server とともに出荷する方法の詳細については、ヘルプトピックの『[概要 - アプリケーションの出荷](#)』を参照してください。

開発者テスト用ライセンスのインストール

開発者テスト用ライセンスは、『[Micro Focus Server ライセンスのインストールと管理](#)』の章にある、『[AppTrack によるライセンスのインストールとアンインストール](#)』の説明に従ってインストールします。

アプリケーションをテストする際に、提供されたライセンスよりも多くの Micro Focus Server ライセンスが必要な場合は、Micro Focus Server ライセンスを追加で購入する必要があります。この場合も同様にライセンスをインストールすることができます。


開発者テスト用ライセンス使用上の問題


アプリケーションのテストで、有効なライセンスがないというメッセージが表示された場合は、ライセンスデータベースに開発者テスト用ライセンスがないことを示しています。

AppTrack の [ライセンスリスト] で、開発者テスト用ライセンスを確認できます。このリストに、**Developer Usage マークが付いたエントリが必要です。

方法

Copyright © 2006 Micro Focus (IP) Ltd. All rights reserved.

 Installing and Administering Micro Focus
Server Licenses

Setting Up Licensing for Your
Application 

第 4 章: アプリケーションへのライセンス設定

ここでは、アプリケーションに適切な Micro Focus Server ライセンスを与えるために開発者として行う必要がある作業、およびエンドユーザがアプリケーションを簡単にセットアップできるようにするための方法を説明します。

概要

Net Express で開発したアプリケーションを出荷する場合は、Micro Focus Server も提供する必要があります。Micro Focus Server は、ランタイムシステムとサポートを提供します。Micro Focus Server は、Net Express の一部として、独立した CD で提供されます。

エンドユーザに Micro Focus Server ライセンスをインストールしてもらう必要があります。その際、Micro Focus 社が提供する Micro Focus Server のセットアッププログラムをご利用いただくことをお奨めします。このセットアッププログラムでは、ライセンスキーの入力とデータベースの場所の入力が求められます。エンドユーザがこれらの情報を入力しなくてすむよう、情報が自動的に入力されるようにすることができます。

場合によっては、Micro Focus Server を使用するアプリケーションに独自のセットアッププログラムを提供します。たとえば、アプリケーションと Micro Focus Server を一緒にインストールするセットアッププログラムを作成する場合などです。

提供のセットアッププログラムによる設定

ここでは Micro Focus 社が提供するセットアッププログラムで、ライセンス管理のセットアップがどのように行われるかについて概要を説明します。セットアッププログラムの全容は『[概要 - アプリケーションの出荷](#)』を参照してください。

セットアッププログラムでは、次のような情報が要求されます。

ライセンスデータベースの場所

ライセンスキー

これらの情報は、セットアッププログラムのコマンド行で指定することもできます。この方法を、自動インストールと呼びます。

方法

Micro Focus Server を自動的にインストールしない場合は、エンドユーザにライセンスキーを提供する必要があります。この場合は、ライセンスデータベースが移動されたり、破損した場合の問題解決のために、エンドユーザもライセンスキーを記録する必要があります。

独自のセットアッププログラムの作成

Micro Focus Server 上で動作するアプリケーションに、独自のセットアッププログラムを作成できます。Enterprise Server 上で動作するアプリケーションのセットアップでは、アプリケーションを Enterprise Server にデプロイする必要がありますが、その他に大きな留意点はありません。

基本 Micro Focus Server を使用するアプリケーションに独自のセットアッププログラムを提供する場合は、まず、エンドユーザがアプリケーションをどのようにインストールするかを決定する必要があります。たとえば、エンドユーザがアプリケーションと Micro Focus Server を一緒にインストールするか、またはアプリケーションとは別に共有 Micro Focus Server をインストールするかということを決めます。

アプリケーションと基本 Micro Focus Server をパッケージ化する方法は、次のとおりです。

スタンドアロンアプリケーション - 実行形式ファイル、Microsoft Visual C++ ランタイムシステム msvcr7.dll、および Micro Focus Server のライセンスファイルが必要です。これらのファイルの詳細については、Net Express のヘルプトピックの『[出荷するライセンスと設定ファイル](#)』を参照してください。

次のようなインストール手順を作成する必要があります。

1. Micro Focus Server のライセンスファイルがアプリケーションと同一のディレクトリにインストールされるようにします。
2. Micro Focus Server を使用するアプリケーションが初めてマシンにインストールされる場合は、ライセンスデータベースが設定されるようにします。その後のインストールでは、同一のライセンスデータベースを使用し、そのデータベースに、そのマシン上で Micro Focus Server を使用するすべてのライセンスが保持されるようにします。

方法

共有 Micro Focus Server - この Micro Focus Server は、エンドユーザのマシン上の複数の COBOL アプリケーションで使用されます。共有 Micro Focus Server は、アプリケーションとは別のディレクトリにインストールします。マシンには、Micro Focus Server を 1 つだけインストールします。

提供されたセットアッププログラムを使用して、共有 Micro Focus Server をインストールし、関連するレジストリエントリを行います。このセットアップでは、ネットワークサーバ上に共有ライセンスデータベースを設定することもできます。

方法

アプリケーション固有の Micro Focus Server - この Micro Focus Server は、単独の COBOL アプリケーションとともにインストールされ、使用されます。このシナリオでは、Micro Focus Server のファイルを選択してインストールできますが、基本 Micro Focus Server をフルインストールすることをお奨めします。

次のようなインストール手順を作成する必要があります。

1. Micro Focus Server のライセンスファイルがアプリケーションと同一のディレクトリにインストールされるようにします。
2. Micro Focus Server が初めてマシンにインストールされる場合は、ライセンスデータベースが設定されるようにします。その後のインストールでは、同一のデータベースを使用し、そのデータベースに、そのマシン上にインストールされた Micro Focus Server すべてに対するライセンスが保持されるようにします。
3. ネットワークサーバ上に共有ライセンスデータベースを設定できるようにします。このデータベースに、すべてのエンドユーザのアプリケーションに対するライセンスが保持されます。

方法

アプリケーションを Micro Focus Server とともに出荷する方法の詳細については、Net Express のヘルプトピックの『[概要 - アプリケーションの出荷](#)』を参照してください。

Copyright © 2006 Micro Focus (IP) Ltd. All rights reserved.



Developer Testing Licenses